

# Mizuho Daily Market Report

2023/7/25

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.43	141.48	▲0.25	+2.77
EUR	1.1080	1.1064	▲0.0060	▲0.0172
AUD	0.6734	0.6739	+0.0010	▲0.0077
SGD	1.3315	1.3318	+0.0011	+0.0099
CNY	7.2030	7.1874	▲0.0002	+0.0139
MYR	4.5785	4.5665	+0.0038	+0.0292
THB	34.46	34.46	+0.01	▲0.16
IDR	15027	15023	▲2	+18
PHP	54.63	54.75	+0.00	+0.37
INR	81.91	81.83	▲0.13	▲0.22

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.873%	+3.8 bp	+6.6 bp
日本(10年)	0.463%	+1.3 bp	▲1.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.393%	▲4.6 bp	▲5.5 bp
オーストラリア(5年)	3.867%	▲2.8 bp	▲0.6 bp
シンガポール(5年)	2.984%	▲1.1 bp	▲6.8 bp
中国(5年)	2.409%	+1.2 bp	▲0.7 bp
マレーシア(5年)	3.581%	+0.7 bp	+2.8 bp
タイ(5年)	2.359%	+0.0 bp	+3.9 bp
インドネシア(5年)	5.924%	+1.2 bp	+3.2 bp
フィリピン(5年)	6.140%	+0.0 bp	+0.6 bp
インド(5年)	7.059%	▲0.8 bp	+0.9 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,411.24	+0.5%	+2.4%
N225(日本)	32,700.94	+1.2%	+1.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,383.03	▲0.2%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	4,187.55	+0.1%	+3.7%
FTSTI(シンガポール)	3,265.14	▲0.4%	+0.3%
SSEC(中国)	3,164.16	▲0.1%	▲1.4%
KLSE(マレーシア)	1,424.69	+0.8%	+1.3%
SETI(タイ)	1,523.81	▲0.4%	▲0.3%
JKSE(インドネシア)	6,899.396	+0.3%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,631.25	▲0.2%	+1.2%
SENSEX(インド)	66,384.78	▲0.4%	▲0.3%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	280.13	+1.3%	+4.6%
金	1,954.73	▲0.4%	▲0.0%
原油(WTI)	78.74	+2.2%	+6.2%
銅	8,487.75	+0.8%	+0.2%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	139.50	—	142.00
EUR/USD	1.1010	—	1.1150
AUD/USD	0.6660	—	0.6820
USD/SGD	1.3250	—	1.3350
USD/CNY	7.1800	—	7.2100
USD/MYR	4.5180	—	4.5880
USD/THB	34.30	—	34.70
USD/IDR	14930	—	15080
USD/PHP	54.30	—	54.80
USD/INR	81.80	—	82.45

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は141円台後半でオープン。仲値近辺は底堅く推移したもののその後は反落。今週は中銀イベントを控え様子見ムードの中、下値を模索するほどの勢いもなく141円台前半では下げ止まり同水準で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に軟調な動き。今週は週半ばにFOMCを控え、今会合での利上げが予想される中ドル買い優勢の展開となった。政局の不透明感が意識されるタイバーツは34バーツ台半ばまで売られる局面が見られた。

海外市場のドル円は140円台後半でNYオープン。NY時間午前中に発表された米7月S&Pグローバル米国製造業PMIは予想を上回るも、サービス業PMIとコンソリッドPMIが予想を下回り、強弱まちまちな結果を受けて上下する。50日移動平均線付近の140円台後半まで下落する場面もあったが、その後、米金利が再度上昇する動きを眺めながら、141円台半ばまで買い戻される。NY時間午後ドル高の流れが続き、終盤にかけては141円台半ばまで値を上げ同水準でクロスした。

## 【金利】

金利市場は、中期を中心に金利上昇。NY時間朝方発表された景況感指数は全体的にはまちまちな結果となったため発表後は売り買いが交錯する状況となったが、2年物国債の入札結果が軟調となったことや今週に行われるFOMCでの利上げが意識されていることから、引けにかけては売りが持続した。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。今週は週半ば以降にFOMC、ECB、日銀金融政策決定会合と主要イベントを控える中、基本的には様子見ムードが強まりやすいと考えられるが、先週の日銀の金融政策に関する報道を受け政策修正観測が後退している状況では円を積極的に買う動きは控えられやすいと予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 国債入札(40Y)  
(アジア) 2Q 韓国 GDP  
(アジア) 7月 ベトナム CPI / 貿易収支  
(アジア) 7月 ベトナム 鉱工業生産 / 小売売上高  
(アジア) インドネシア 金融政策会合  
(欧州) 7月 独 IFO企業景況感指数  
(米国) 5月 FHFA住宅価格指数  
(米国) 7月 コンファレンスボード消費者信頼感  
(米国) 7月 フィデリティア連銀非製造業活動  
(米国) 7月 リッチモンド連銀製造業指数  
(米国) 国債入札(5Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。